

## センス・オブ・ワンダー都民の森観察会

6月26日（日） 都民の森

参加者 5名

連日の暑さで、体調不良のため欠席方が続出で人数的には少なめになってしまいましたが、都会を離れて大きな自然の懐に抱かれて大満足の旅になりました。

熱中症が心配だったのですが、武蔵五日市からバスでどんどん山道をあがっていき、都民の森に着くと暑さは全く感じずちょうど良い気候でした。東京都とはいえ標高1000m以上だから、涼しいのですね。

バスを降り、森林館にいくと、ガイドをしてくださる浦野さんが待っていてくださいました。彼はこのあたりの自然、特に鳥に詳しいそうでプロミナでさっそくオオルリを見せてくださいます、もっともちゃんと見れたのは一人だけで、見ているうちに飛んでいってしまいましたが。森林館から三頭大橋まではチップが敷き詰められていてほとんど平坦な歩きやすい道です。道々ヤワタソウ、クモキリソウなど珍しい花々に出会いました。ただ、都民の森周辺は鹿の被害がひどいそうで、多くの木が折られたり踏まれたり、下に生える草もほとんど食べられてしまうとか。驚いたことにトリカブトのような猛毒のものも平気で(?)食べてしまうようです。また道々オオルリ、キビタキ、ミソサザイの声が聞こえます。オオルリも、この子は最後にジュリジュリというフレーズをつけます、こちらの子はこんな鳴き方をしますなど、それぞれの鳥による違いも区別できるそうです。

三頭大橋の脇でお弁当を食べていると、ミスジチョウが2を飛び回っています、我々がいても平気で止まったり追いかけてりしていました。肝心のアサギマダラは・・・やはり鹿の害で一面に生えていたヒヨドリバナがほとんど無くなったそうで、見られるかどうか心配でしたが、帰路につこうというときに「私を忘れちゃダメですよ！」という感じで飛び出してきました。写真を見ると羽にマーキングがされています。どこか遠いところから飛んできたのでしょうか、羽もかなり傷んでいました～。会えて良かった！

最後にもう一度オオルリをプロミナでしっかり見せていただき、帰路につきました。短い時間でしたが、ていねいに説明をしてくださった浦野さんのお陰でとても充実した時間になりました。都会を離れて自然の中に遊ぶことの大切さを深く感じました。ありがとうございました。

(文責 小川)



コアジサイ



ミスジチョウ



アサギマダラ